

地歴公民 (世界史) 東京大学 (前期) 1/3

第1問

5 10 15 20 25 30

- (1)第一次世界大戦に敗れた後に支配領域が解体・縮小し、ほぼ単一の民族からなる後継国家が成立したオーストリア＝ハンガリー帝国・オスマン帝国と、革命で滅亡し、後継国家の支配領域や多民族の人口構成に大きな変化がないロシア帝国・清に分類される。前者では解体されたオーストリアがドイツ人の共和国となり、解体されたオスマン帝国を倒したトルコ革命を経て成立したトルコ共和国は、確保した領域でトルコ人としての国民統合を目指した。後者ではロシア革命で滅亡したロシア帝国の領域をほぼ継承したソヴィエト政権が民族自決の下で領域を再編し、ウクライナなどと連邦制に基づくソ連を建てた。辛亥革命を経て清に代わった中華民国に対し、モンゴルやチベットは独立を図り外モンゴルが独立したが、中華民国は五族共和を唱え、清の後継国家として領域の継承を図った。
- (2)第一次世界大戦中にソヴィエト政権が平和に関する布告で提唱した民族自決の原則は、これに対抗してアメリカのウィルソン大統領が発表した十四カ条でも提唱された。大戦終結後のパリ講和会議で民族自決は原則とされたが、ヨーロッパにのみ恣意的に適用され、アジア・アフリカには適用されなかった。結果オーストリア＝ハンガリー帝国からはチェコスロヴァキアやユーゴスラヴィアなどの民族国家が独立したが、オスマン帝国には適用されず、アラブ人地域が戦勝国イギリス・フランスに配分され、委任統治下におかれた。

地歴公民 (世界史) 東京大学 (前期) 2/3

第2問

5 10 15 20 25 30

(1)

(a) 利他行を行う菩薩信仰により衆生救済を目指す大乘仏教が広まり、シャイレンドラ朝期のジャワ島にボロブドゥールが建てられた。

(b) シュリーヴィジャヤ

5 (c) 『大唐西域記』と『南海寄帰内法伝』を各々著した玄奘と義浄は、仏典を持ち帰り漢訳し、教理を研究して新宗派確立に寄与した。

(2)

10 (a) ファシスト政権はエチオピアを侵略し、スペイン内戦では人民戦線政府を支えるソ連に対抗して反政府のフランコを支援し、ドイツに接近して日独伊防共協定を結んだ後、国際連盟から脱退した。

(b) ローマ帝国とファシスト政権の施設を道路で結び、「市民の第一人者」として事実上の独裁を始めたアウグストゥスや、版図を広げたトラヤヌスの事績を強調し、国民統合と版図拡大を正当化した。

(3)

15 (a) 1959年にカストロがキューバ革命で親米バティスタ政権を倒した。アメリカが国交を断絶するとキューバは社会主義を宣言し、後にソ連のフルシチョフ政権とキューバが接近しミサイル基地が建設され、ケネディ政権は海上封鎖で対抗し、核戦争の危機に至った。

(b) ポルトガル

地歴公民 (世界史) 東京大学 (前期) 3/3

第3問

5 10 15 20 25 30

- | | |
|----|----------------------------|
| | (1)ウ |
| | (2)北魏 |
| | (3)詞 |
| | (4)アケメネス朝 |
| 5 | (5)メッカ |
| | (6)ヨハネ騎士団, テンプル騎士団, ドイツ騎士団 |
| | (7)ラビン, アラファト |
| | (8)マンチェスター |
| | (9)万国博覧会 |
| 10 | (10)オーストラリア |